学校番号	413

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校生の美術３　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１，２年次で学んだことを発展させ「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」と「鑑賞」の分野について学習し、個性的な表現を目指します。

・個性豊かな美術表現を工夫し、独自の形体・色彩・構成などについて工夫して、自分なりの表現を深めていきましょう。また、違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

２ 学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性的で独自な表現力と鑑賞の能力を伸ばす。また、世界の美術文化についての理解を深める。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	作家の生涯と作品を知ろう	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅲ」の学習イメージを持つ。 ・人物クロッキー	○ ○	 ○	 ○	○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや作家についての理解を深めている。 b:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 c:クロッキーの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。	学習活動の様子 制作中の様子 完成作品
	デザイン空間表現	【デザイン】 ・色彩構成 画用紙にアクリル絵の具で着色する。 球や立方体、円錐等をモチーフに立体空間をデザイン構成する。	○	○	○		a:空間のイメージを表現することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとしている。 b:条件や美しさとなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:アクリル絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。	ラフスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品
	身近な風景を描こう	【絵画】【鑑賞】 ・油彩を使い、「身近な風景」を描く。 ・スケッチをもとに自分の身近な風景を表現する。 ・相互鑑賞・プレゼンテージョン(全体)	○ ○	○ ○	○ ○	○	a:身近な風景を観察し、構図を考えながらラフスケッチを描く b:鉛筆を使い陰影や輪郭を工夫しながら構図を考え、色彩豊かな風景画の表現の構想を練っている。 c:目的や意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、自他の表現の違いの作品についての理解を深めている	ラフスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品
2学期	石膏デッサンを描く	【絵画】 ・木炭を使い石膏像を描写	○	○			a:石膏像の形状や立体感、明暗を丁寧に観察し、構図を考える。 b:石膏の立体感や質感やボリューム感を表現する。	作品

	スクラッチボードの表現	【絵画】【鑑賞】 ・コラージュをもとにスクラッチボードを製作。 ・相互鑑賞・プレゼンテージョン（全体）	○	○	○	○	a：自分なりのテーマを決め写真等を使いコラージュ作品を製作。 b：形や色彩などの働きを考えて個性豊かに表現する。 c：素材の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。 d：作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、自他の表現の違いの作品についての理解を深めている	ラフスケッチ 製作過程の作品 完成作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート
	銅版レリーフの製作	【彫刻】 ・自分なりのモチーフで、銅版によるレリーフ表現を行う。	○	○	○		a：人物や動物等のテーマを基にアイデアスケッチを考える。 b：テーマを基に躍動感や立体感を工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c：意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。	ラフスケッチ 製作過程の作品 完成作品
3学期	発表にむけての自由製作	【絵画】【デザイン】【立体】 ・ブロック展出品にむけてそれぞれが発表作品を製作する。 ・相互鑑賞・プレゼンテージョン（全体）	○	○	○	○	a：自分なりのテーマを基に絵画、デザイン、立体の中から１分野を選び作品の構想を立てる b：自らのテーマを基に感性や想像力を働かせて、形体、色彩、構成、素材などを工夫して個性的な表現の構想を練っている。 c：意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。 d：他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	ラフスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 完成作品 鑑賞活動の様子や発言内容 作品

※　表中の観点について　a：美術への関心・意欲・態度　　b：発想や構想の能力
c：創造的な技能　　d：鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。